

プラント状況確認結果(平成25年4月9日～4月16日)

平成25年 4月 16日
福島県原子力安全対策課

○ 平成25年4月9日～4月16日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ この期間において、不具合等の連絡(特記事項参照)を2件受けました。

4月5日に発生した地下貯水槽からの汚染水漏えい事象の経過と現況については下記【特記事項】をご参照ください。

また、4月14日に発生した地震において、プラント等に有意な変動はありませんでした。

(1) プラント状況(4月16日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.3	5.6	5.5	—
		压力容器 下部温度(°C)	21.3	34.5	33.4	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³)(A系)	1.50×10 ⁻³	検出限界未満	検出限界未満	—
压力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.06	0.08	0.15	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	17.0	16.9	15.1	25

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm³以下である。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(4月16日午前10時)

最小 2.2(MP-6)～最大 6.5(MP-3) マイクロシーベルト/時 ⇒[計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(4月15日採取分)

最小 検出限界未満(物揚場前、4号機スクリーン(シルトフェンス外側))～最大 34(3号機スクリーン(シルトフェンス内側)) Bq/ℓ

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(4月15日採取分)

5,6号機放水口北側に30m: 検出限界未満

1～4号機放水口から南側に1.3km: 検出限界未満 ※検出限界値は1.2 Bq/ℓ

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(4月15日採取分)

西門: 検出限界未満 ※検出限界値は約2×10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(4月15日採取分)

最小 検出限界未満(4号機)～最大 0.44(2号機) Bq/cm³ ※検出限界値は0.02 Bq/cm³

【特記事項】

- ・ 4月11日 4月5日に発生した地下貯水槽からの汚染水漏えいに関して、漏えいが確認された地下貯水槽No. 3から汚染水を地下貯水槽No. 6に移送していたところ、14時03分に配管接続部より漏えいを発見し移送を停止した。その後、接続部を交換し漏えいがないことを確認できたことから、4月12日21時56分に移送を再開した。
※[経過の詳細と現況についてはこちら](#)をご参照ください。
- ・ 4月14日 22時25分頃、発電所周辺で震度4となる地震が発生しましたが、プラントの異常及びモニタリングポスト指示値の有意な変動は確認されませんでした。なお、発電所内で観測された加速度の最大値は、6号機原子炉建屋の水平方向で26.5ガル。

(問い合わせ 024-521-1917)